

北見工業大学学報

第 223 号 (2007 年 9 月号)

目 次

学位記授与式	平成 19 年度 9 月期学位記授与式举行……………	2
入 試	大学院入学試験の実施……………	3
	平成 20 年度学生募集要項の公表……………	5
研 究 助 成	平成 19 年度共同研究の受入状況……………	7
	平成 19 年度受託研究の受入状況……………	7
	平成 19 年度奨学寄附金受入状況……………	8
人 事	人事異動……………	8
国 際 交 流	韓国及び中国の 4 大学との国際大学交流プログラム実施……………	9
	「昌原(チャンウォン)大学校との交流協定書」の締結……………	10
諸 報	「科学研究費補助金パワーアップセミナー」を開催……………	11
	フュージョンセンター改修工事の開催……………	12
	北見工業高校との SPP 事業を実施……………	12
	「おもしろ科学実験」を開催……………	13
	北見工業大学「技術士養成支援講座」の閉講式……………	14
	地域共同研究センター産学官連携推進員・協力員合同会議、 網走にて開催……………	15
	ピア・サポーター始動……………	16
	平成 19 年度北見工業大学技術部技術員研修を開催……………	16
	メンタルヘルス講演会、メンタルヘルスサポート研修実施……………	17
	進学説明会の開催……………	18
	父母懇談会(秋季・仙台)を開催 —東北地区で活躍する同窓生から就職についての助言—……………	19
	財務諸表等の開示……………	20
	SVBL オープンラボ(研究報告会)を開催……………	20
地域共同研究センター合同研修会を開催……………	21	
日 誌	8 月・9 月……………	22

= 学位記授与式 =

平成 19 年度 9 月期学位記授与式挙行

(総務課)

平成 19 年度 9 月期学位記授与式が、9 月 14 日(金)午前 10 時から、本学第2会議室で行われました。

今回の授与式は、理事、副学長、指導教員

が列席するなか、大学院工学研究科博士前期課程機械システム工学専攻修了者の川崎真氏に対し、常本学長から学位記が授与されました。



学長(写真左)より学位記授与される川崎真氏(写真右)



写真左より、大島理事、川崎真氏、常本学長、田牧副学長、田村副学長と後列、川崎真氏の父母

= 入 試 =

大学院入学試験の実施

(入 試 課)

平成 19 年度秋季及び平成 20 年度大学院入学試験が、8 月 20 日～23 日に実施されました。
課程別専攻別の合格者数等は次表のとおりです。

平成 19 年度（秋季）博士前期課程（一般選抜）

専攻名	募集人員	志願者	受験者	合格者
機械システム工学専攻	若干人	1	1	1
電気電子工学専攻		0	0	0
情報システム工学専攻		0	0	0
化学システム工学専攻		0	0	0
機能材料工学専攻		0	0	0
土木開発工学専攻		0	0	0
合計		1	1	1

平成 19 年度（秋季）博士前期課程（外国人留学生特別選抜）

専攻名	募集人員	志願者	受験者	合格者
機械システム工学専攻	若干人	0	0	0
電気電子工学専攻		1	1	1
情報システム工学専攻		1	1	1
化学システム工学専攻		0	0	0
機能材料工学専攻		0	0	0
土木開発工学専攻		1	1	1
合計		3	3	3

平成 19 年度（秋季）博士後期課程

専攻名	募集人員	志願者	受験者	合格者
システム工学専攻	若干人	3	3	3
物質工学専攻		0	0	0
合計		3	3	3

平成 20 年度博士前期課程（一般選抜）

専攻名	募集人員	志願者	受験者	合格者
機械システム工学専攻	16	18	18	18
電気電子工学専攻	16	24	24	19
情報システム工学専攻	16	10	10	9
化学システム工学専攻	14	20	20	20
機能材料工学専攻	10	18	18	16
土木開発工学専攻	20	23	22	22
合計	92	113	112	104

平成 20 年度博士前期課程（外国人留学生特別選抜）

専攻名	募集人員	志願者	受験者	合格者
機械システム工学専攻	若 干 人	1	1	1
電気電子工学専攻		0	0	0
情報システム工学専攻		2	2	2
化学システム工学専攻		0	0	0
機能材料工学専攻		0	0	0
土木開発工学専攻		1	1	1
合計		4	4	4

平成 20 年度大学院博士後期課程

専攻名	募集人員	志願者	受験者	合格者
システム工学専攻	7	1	1	1
物質工学専攻	5	0	0	0
合計	12	1	1	1

平成 20 年度学生募集要項の公表

(入 試 課)

平成 20 年度北見工業大学学生募集要項(一般選抜・特別選抜)が 10 月に公表されました。

要項の内容は、7 月に公表された入学者選抜要項の内容を含め、出願手続、個別学力検査実施日程の詳細、検定料その他入学者選抜上の具体的事項及び留意点を記載し、出願書類等を同封したものです。

募集要項の主な内容は以下のとおりです。

一般選抜

特別選抜(推薦入学・帰国子女特別選抜)

<p>1. 募集人員 下記別表のとおり</p> <p>2. 願書受付期間 平成 20 年 1 月 28 日(月)～2 月 6 日(水)</p> <p>3. 個別学力試験の期日 前期日程 課しません 後期日程 平成 20 年 3 月 12 日(水)</p> <p>4. 合格者の発表 前期日程 平成 20 年 3 月 6 日(木) 後期日程 平成 20 年 3 月 21 日(金)</p> <p>5. 入学手続期間 前期日程 平成 20 年 3 月 7 日(金)～3 月 15 日(土) 後期日程 平成 20 年 3 月 22 日(土)～3 月 27 日(木)</p> <p>6. 追加合格通知期間 前・後期日程とも、 平成 20 年 3 月 28 日(金)～3 月 31 日(月)</p>	<p>1. 募集人員 下記別表のとおり</p> <p>2. 願書受付期間 平成 19 年 11 月 1 日(木)～11 月 7 日(水)</p> <p>3. 選抜試験の期日 平成 19 年 12 月 7 日(金)</p> <p>4. 合格者の発表 平成 19 年 12 月 19 日(水)</p> <p>5. 入学手続期間 平成 20 年 1 月 15 日(火)～1 月 18 日(金)</p>
--	---

○募集人員

(人)

系・学科名		入学定員	募集人員		
			前期日程	後期日程	推薦入学
機械・社会環境系	機械工学科	160人	64人	56人	40人
	社会環境工学科				
情報電気エレクトロニクス系	電気電子工学科	140人	63人	42人	35人
	情報システム工学科				
バイオ環境・マテリアル系	バイオ環境化学科	110人	46人	36人	28人
	マテリアル工学科				
工学部合計		410人	173人	134人	103人

※入学後1年間は各系に所属し、2年次進級時に本人の志望及び学業成績により系内の学科に移行します。

注① 後期日程の募集人員には、各系とも帰国子女特別選抜の募集人員若干人を含みます。

② 推薦入学の合格者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を後期日程の募集人員に加えて募集します。

○個別学力検査 日時・会場

- ・日時（後期日程）

期日	教科	時間
平成20年3月12日(水)	数学	10:00～12:30
	理科	14:00～15:30

- ・受験会場 北見工業大学または大阪会場（関西大学千里山キャンパス）

= 研究助成 =

平成19年度共同研究の受入状況

(研究協力課)

平成19年9月30日現在

所 属	職 名	研究代表者	研 究 題 目	民間機関等
化学システム工学科	教授	吉田 孝	北海道のセルロース系農産資源の亜臨界水分解によるバイオエタノール製造の調査	(社)北見工業技術センター運営協会
化学システム工学科	教授	堀内 淳一	水熱処理を用いた北海道産バイオマスの加水分解特性とその生物学的利用	(社)北見工業技術センター運営協会
国際交流センター	教授	山岸 喬	亜臨界水を用いた食品の加工	(社)北見工業技術センター運営協会
機械システム工学科	准教授	柴野 純一	水素透過複相合金の高温水素環境下応力測定	(社)北見工業技術センター運営協会
国際交流センター	教授	山岸 喬	北見産ハーブ類を利用した機能性浴用剤の開発	北見市/(株)はるにれバイオ研究所
機械システム工学科	准教授	三木 康臣	新エネペレットハウスによるオガコの太陽熱乾燥に関する研究	北見市/佐東木地製作所
地域共同研究センター	工農教育 アソシエイト	住佐 太	ホタテの煮汁を活用した新製品の開発	北見市/(株)しんや
国際交流センター	准教授	菅野 亨	バイオ活性水の機能性向上に関する研究	北見市/(株)環境デザイン
化学システム工学科	教授	吉田 孝	木タールをバインダーとする環境適応型蓄熱材料の開発	エヌティ日東産業 (株)
情報システム工学科	教授	三浦 則明	Multi-conjugate補償光学系の開発	自然科学研究機構国立天文台
機械システム工学科	准教授	三木 康臣	ヤナギ類の短伐栽培とサルファーフリー軽油 (BTL) 製造に関する研究	三基開発(株)/北海道木質バイオマス研究会
電気電子工学科	准教授	柏 達也	スーパーコンピューターを使った車載アンテナ測定環境の大規模電磁界シミュレーションに関する研究	(株)本田技術研究所
化学システム工学科	准教授	山田 哲夫	建築廃材中の繊維状物質の簡易定量	(株)環境リサーチ
機能材料工学科	教授	青木 清	水素透過膜自動評価試験装置の共同研究開発	(株)鈴木商館
国際交流センター	教授	山岸 喬	高ケルセチンたまねぎ有望系統の有効利用法の開発	北海道立北見農業試験場 /(株) グリーنز北見

平成19年度累計 79件

平成19年度受託研究の受入状況

(研究協力課)

平成19年9月30日現在

所 属	職 名	研究担当者	研究題目及び研究期間	委託機関	所要経費 円
電気電子工学科	教授 助教	垣本 直人 仲村 宏一	電気二重層キャパシタの性能向上手法に関する研究	日産ディーゼル工業 (株)	1,000,000
未利用エネルギー研究センター	教授	庄子 仁	表層型メタンハイドレートの産状解明と生産手法の開発におけるメタンハイドレート物性の評価	清水建設株式会社	2,700,000

平成19年度累計 26件

平成19年度奨学寄附金受入状況

(研究協力課)

平成19年9月30日現在

所 属	職 名	研 究 者	寄 附 目 的	寄 附 者	寄附金額 円
土木開発工学科	教授	鮎田 耕一	奨学研究費	太平洋セメント(株)	300,000
電気電子工学科	准教授	武山 真弓	工学研究のため	(株)富士通研究所	500,000
電気電子工学科	准教授	菅原 宣義	配電用機材の塩雪害および急速汚損に関する研究のため	北海道電力(株)	1,000,000
機械システム工学科	助教	石谷 博美	ディーゼル燃費及び排ガス測定調査	東北海道いすゞ自動車(株)	50,000
機械システム工学科	教授	田牧 純一	工学研究の助成	(株)ニートレックス	200,000
土木開発工学科	准教授	高橋 清	工学研究のため	(株)ドーコン	500,000
機械システム工学科	教授	田牧 純一	工学研究の助成	(株)産鋼スチール	160,000
保健管理センター	教授	本田 明	医療医学研究	ジブラルタ生命北見支社	5,000
機械システム工学科	准教授	三木 康臣	「イメージ図によるエネルギー環境啓発イベントの影響評価分析」遂行のため	北海道木質バイオマス研究会	20,000
土木開発工学科	准教授	高橋 清	工学研究のため	(株)ドーコン	500,000
土木開発工学科	准教授	高橋 清	社会技術の教育・教育支援のため	日産自動車(株)	300,000
地域共同研究センター長	教授	高橋 修平	オホーツク地域の行政・民間機関との共同研究・研究交流及び技術指導、教育、開発等を推進するため	北見工業大学 地域共同研究センター推進協 議会	1,700,000

平成19年度累計 49件

= 人事 =

人事異動

(総務課)

○大学発令

発令年月日	現職名	氏名	異動内容
19. 9. 1	技術部第五係	奥山 圭一	技術部技術専門職員
19. 10. 1	機械システム工学科准教授	柴野 純一	機械システム工学科教授

＝ 国際交流 ＝

韓国及び中国の4大学との国際大学交流プログラム実施

(研究協力課)

8月15日(水)～26日(日)迄の12日間、本学と交流協定を締結している韓国の慶尚(ギョンサン)大学校工科大学、江原(カンウォン)大学校三陟キャンパス及び中国の武漢(ウーハン)科技大学、哈爾(ハルビン)工程大学の学生35名と本学学生多数が参加して国際大学交流プログラムを実施しました。

このプログラムは、平成11年度から本学と韓国の慶尚大学校工科大学との間で実施されていた「短期交流研修」を発展させ、今回初めて外国の複数の大学からの学生の参加をみて実施されたものです。

今回のプログラムでは、従来行われていた講義、施設視察、研修旅行に加え、新たに環境とエネルギーについての国際学生シンポジウムを

実施しました。

参加人数も多く、又、期間も12日間と長期間でしたが、参加者の積極的な取り組みにより大変充実したプログラムとなりました。



国際学生シンポジウムの様子



国際大学交流プログラムでの集合写真

「昌原(チャンウォン)大学校との交流協定書」の締結

(研究協力課)

8月29日(水)、韓国の昌原大学校の朴成浩(パク ソンホ)総長が本学を訪れ、本学と昌原大学校との「学術・教育交流協定」締結の調印式が行われました。

本学と昌原大学校とは、本学の大学院学生が研究のため派遣されるなど、研究上の交流も

盛んであるため「学術・教育交流協定」及び「学生交流に関する覚書」を締結する運びとなったものであります。

なお、今回の協定締結で本学との学術・教育交流協定締結大学は、7か国 17 大学となりました。



↑(写真上)協定を取り交わす常本学長(右)と昌原大学校総長(左)

←(写真左)記念品交換の様子

= 諸報 =

「科学研究費補助金パワーアップセミナー」を開催

(研究協力課)

去る平成 19 年 7 月 31 日、総合研究棟多目的講義室において「科学研究費補助金パワーアップセミナー」が開催されました。

講師には文部科学省研究振興局学術研究助成課 袖山 禎之 企画室長、ならびに文部科学省科学技術・学術政策局調査調整課競争的資金調整準備室 吉野 明 課長補佐の 2 名をお招きしました。袖山室長は「科学研究費補助金の現状と課題」、吉野課長補佐は「『研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)』について」と題して、科学研究費補助金の制度や構造、研究費の不正防止等について説明が

行われました。

休憩をはさみ、土木開発工学科 高橋 修平 教授並びに機能材料工学科 石川 和宏 准教授から、ご自身の経験を基に、採択に結びつく科研費申請書の書き方についてのアドバイスを笑いも交えながらお話いただきました。

なお、本セミナーには本学をはじめ日本赤十字北海道看護大学、東京農業大学、釧路公立大学、釧路工業高等専門学校、旭川工業高等専門学校から教職員 136 名もの参加があり、会場定員を超えるほどの盛況ぶりで、関心の高さがうかがわれるセミナーとなりました。



セミナー会場の様子

フュージョンセンター改修工事の開始

(施設課)

8月1日から、図書館及び第1講義棟において、フュージョンセンター改修工事が着工されました。

この工事によって、図書館及び第1講義棟はオホーツク圏における地域の知の拠点として、地域再生・地域貢献、都市再生プログラムを支援し、未来を担う人材育成に貢献するためフュージョンセンターという機能を持ち、生まれ変わります。

平成 20 年1月末に完成予定で、講義棟や図書館を利用する皆様には長らくご迷惑をおかけしますが、ご協力をよろしくお願いいたします。



フュージョンセンター完成予定図

北見工業高校とSPP事業を実施

(学生支援課)

8月6日～7日の2日間、独立行政法人科学技術振興機構において実施する「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト」(SPP)事業に北見工業高等学校との連携により「講座型学習活動」を実施しました。

本事業のテーマは、「地震と耐震のサイエンス」で、土木開発工学科の三上修一准教授が中心となって講義及び実験を実施しました。両日とも、同校の1・2年生を中心に 20 名を大学に招いて、地震発生のメカニズムと地震によってどのような被害が発生するかなどについて講義・実験を行いました。

最後に、実験で作成した地震に強い建物のコンテスト及び担当教員からそれぞれの作品について評価があり、高校生たちは、地震

と耐震の関係について興味や関心をさらに高めることができました。



耐震補強実験の風景

「おもしろ科学実験」を開催

(企画広報課)

去る8月11日(土)、北見工業大学でおもしろ科学実験が開催されました。

夏休み中の小中学生を対象として、子供たちにもものを作る喜びや、科学の不思議を体験してもらおうと、平成12年度から毎年開催されているもので、今年は特に、昨今問題となっているエネルギー環境問題を扱うテーマを増やしたほか、北海道電力(株)北見支店の協賛により実験テーマを設けてもらうなど、新しい取り組みも実施しています。

雨が降りそうな天気の中、北見市内を中心に札幌や道外からも、午前の実験と午後の実験合わせて450名の子供たちが参加しました。

開会式の学長の挨拶の後、子供たちは19あるテーマに分れ、紙飛行機を作ったり、電子回路を組み立てたり、化学実験に挑戦したり、セメントを使って工作をしたりと、それぞれの実験に取り組み、最後に各テーマ責任者から修了証書を手渡されました。



開会式の様子



実験に取り組む子供たち

No.	テ ー マ
1	紙飛行機から学ぶ飛行のしくみ
2	作ってあそぼう、空気であそぼう
3	電子工作:光るオルゴール独楽を作ろう
4	簡単なモータを作ろう
5	虹をつくろう
6	コンピュータでロボットを動かしてみよう!
7	生命の設計図を見る! 触る! ーサケの白子からのDNA抽出ー
8	川の水をさぐってみよう
9	からまつ活性炭で臭い・色をとる
10	水から電気を作ってみよう
11	スライムを作ろう
12	鉱物の色の不思議
13	メタンハイドレートと氷のじっけん
14	セメントで工作を作ろう
15	ペットボトル風車を使って風力発電に チャレンジ!
16	原始人?火おこしに挑戦!! ～エネルギー・地球環境を考える～
17	地球に優しいエネルギーを学ぼう!!
18	水車を作って水力発電を体験しよう
19	電気の流れとエネルギーについて学ぼう

北見工業大学「技術士養成支援講座」の閉講式

(研究協力課)

札幌サテライトにおいて開講されていまして平成19年度の北見工業大学「技術士養成支援講座」閉講式が8月17日(金)に行われました。

本講座は、札幌市近郊に在住する本学の土木開発工学科卒業生を中心とした社会人を対象として、札幌在住の本学出身技術士7名及び北見在住の2名が講師となり、実践的な講義内容を親切・丁寧に指導し、「技術士」の資格取得を支援するものです。

開講期間は、本年1月から7月までの第2、第3金曜日に合計13回、開講時間については、勤務後に参加しやすいように17時30分から2時間で実施しました。

閉講式は、受講者16名のうち8名が出席し、常本学長から一人一人に「受講証書」が手渡された後、長期間にわたる講座の閉講にあたっての挨拶がありました。次いで受講者代表からの謝辞をもって閉会となり、最後に、学長、各講師とともに記念撮影を行いました。

閉講式終了後の交歓会では、受講者から講座受講の感想、8月4、5日に実施された筆記試験の感触及び次回の論文作成・口頭試験に向けた決意等、各講師からは、指導上の反省点などが披露され、和やかな雰囲気うちに終了しました。



学長からの挨拶



学長、理事を囲む受講者及び講師

地域共同研究センター産学官連携推進員・協力員合同会議、網走にて開催

(研究協力課)

8月23日(木)に、今年度第1回目となる地域共同研究センター産学官連携推進員・協力員合同会議が網走市エコセンターで開催されました。

本会議は、従来オホーツク地域の経済発展を目指し、周辺自治体・公設試験研究機関等の関連部署の担当者に「産学官連携推進員・協力員」を委嘱し、産学官連携に関する事項の協議・情報交換を実施し、地域経済の振興活動を続けてきました。主として北見市内の各機関からの構成による産学連携推進員会議を原則月1回開催し、この会議に周辺自治体担当者による産学官連携協力員を加えた合同会議が年3回、いずれも本学において開催されてきました。この合同会議を今年度より網走・紋別・北見の3地区で巡回開催することとし、その第1回目が網走にて開催されました。

この取り組みは、地域へ大学が外向き産学官連携を更に推進しようとする本学の積極的姿勢を示すもので、この連携を更に深めるため、今年度より本学と包括連携協定の締結先である、北海道中小企業家同友会オホーツク支部・

帯広畜産大学・北洋銀行・北見信金・網走信金・紋別信金・遠軽信金、更に本学工農教育プロジェクト(JST事業)他において本学と密接な協力関係にある、東京農業大学生物産業学部・日本赤十字北海道看護大学・北海道開発局網走開発建設部に産学官連携協力員としての参加を呼びかけて快諾を受け、更にオブザーバーとして網走支庁・北海道中小企業総合支援センター・中小企業基盤整備機構からの参加もあり、本学関係者を含めて総勢33名の会議となりました。

また、この会議に先立ち、それぞれの地域における課題解決の為に基礎データとしてアンケート調査を行い、地域が抱える問題点等の抽出と、解決に向けての検討を行うこととなりました。問題点には国際的なもの、日本国内共通のもの、北海道特有のもの、地域に限定されたものなど多くの提示があり、各方面からの活発な意見交換による諸問題解決に向けて、本会議がその一助となるべく今年度の活動を開始しました。



会議風景：網走エコセンター2003F視聴覚室

ピア・サポーター始動

(学生支援課)

北見工業大学では、現在、学生が同じ学生の目線で、仲間として大学生活における様々な相談を受付けるピア・サポーターの育成に取り組んでいます。

8月24日(金)には、講師に北海商科大学教授でピア・サポート学会会長の中野武房氏を招き、学生よろず相談室に所属する教員を対象としたピア・サポートトレーナー研修を行いました。この研修は、ピア・サポーターへの助言・指導にあたる教員に心理学の基礎理論や学生から相談を受ける際の心得について理解してもらうことを目的に行われました。

9月27日(木)、28日(金)の両日には、ピア・サポーター研修が行われ、事前にピア・サポーターに応募した学生20名が参加しました。研修は、前出の北海商科大学の中野教授を講師に招き、心理学の基礎理論の講義のほか、相談を受ける際の心得を学ぶためのロールプレイング等が行われました。

研修を修了した学生には修了証書が授与され、10月1日(月)から平日15時から17時の間、学生2名が交代で大学会館に設置されたピア・サポート室に待機し、活動を開始しています。



ピア・サポーター研修の一コマ

平成19年度 北見工業大学技術部技術員研修を開催

(技術部)

平成19年度北見工業大学技術部技術員研修が8月30日(木)と8月31日(金)の両日、本学総合研究棟多目的講義室にて実施されました。

この研修は、技術員の職務に関する必要な知識等を広く修得させ、資質の向上を図ることを目的として毎年実施されており、本年度は、技術員全員(37名)が受講しました。

研修では、常本学長、羽二生技術部長、本田保健管理センター所長による各講義、並びに技術員による技術発表、組織の検討状況報告、先輩講話、安全に関するビデオ上映等が行われました。この中で日頃の業務成果等を発

表する技術発表においては、昨年に引き続き半数の技術員が発表し、お互いに技術研鑽・技術交流を深めました。



技術員研修のようす

メンタルヘルス講演会、メンタルヘルスサポート研修実施

(学生支援課)

北見工業大学では、8月31日(金)に岩手大学保健管理センター准教授 早坂 浩志 氏を講師に招き、メンタルヘルス講演会を実施しました。講演では、「最近の学生のメンタルヘルスと不応問題への対応」と題し、臨床心理士として日々、学生相談に携わる講師自身の経験を踏まえながら、学生からの相談内容の多様化や、個々の相談事例に対する適切な対応のあり方について時にユーモアを交えながら分かりやすく解説がありました。

9月21日(金)には、本学保健管理センターカウンセラー白川純子氏を講師に招き、第3回目の「メンタルヘルスサポート研修」が実施され、教職

員が多数参加しました。同研修では、「人間関係とカウンセリングのかかわり～学生相談室でのかかわりを通して」と題した基調講演と学生・教職員に関する事例について、実践的なロールプレイングが行われました。

北見工業大学では、教職員のいずれの立場にあっても、今後ますます、自身の心理面の健康管理の必要性が高まっていくことや、学生や同僚等から相談が寄せられる場面が増えていくと予想されることから、メンタルヘルスをテーマとした講演会や研修会を継続的に内容を充実させながら実施していくこととしています。



講演会における質疑応答の様子



メンタルヘルスサポート研修の一コマ

進学説明会の開催

(入 試 課)

9月8日(土)に本学単独での進学説明会が、前年度から引き続き盛岡において開催されました。

当日は、本学へ入学を希望する高校生やその父母、また高等学校教諭が参加し、本学教員へ積極的に質問を向けていました。

説明会では、小林副学長による本学概要説明の後、本学の教員が参加者と個別に面談を行い、参加者からは「学校の良さを知ることができよかった」、「とてもためになった」などの声が聞かれました。



学長(写真左)挨拶



個別相談の様子

父母懇談会(秋季・仙台)を開催 —東北地区で活躍する同窓生から就職についての助言—

(学生支援課)

去る9月9日(日)東北大学医学部長陵(ごんりょう)会館において「父母懇談会(秋季・仙台)」を実施しました。

当日は、44組68名の父母が参加し、まず始めに全体説明会において、常本学長からは「本学の使命とその特色について」と題して、本学の教育の魅力や研究の特徴、また技術者として働くことの面白さについて、小林副学長からは「本学の教育及び就職状況等」について説明がありました。また、同窓会東北支部長の水野氏から「同窓会の活動について」として同窓会の活動状況が報告されました。

その後、各学科、専攻別に実施された個別面談では、各学科の教員が対応し、父母からは多くの質問が投げかけられ、活発なやりとりが交わされました。また、個別面談までの待ち時間には常本学長、小林副学長及び東北地区の企業で活躍している本学同窓生6名による父母との質疑応答等の時間が設けられました。その中で父母からは、学生を取り囲む地域環境や大学院への進学に関する事、卒業後の就職先に関する質問が出され、大学の詳細を知ろうとする父母の熱意をうかがうことができ、充実した内容の質疑応答となりました。



全体説明会の様子

財務諸表等の開示

(財 務 課)

国立大学法人法に基づき、平成 19 年 9 月 11 日付けで文部科学大臣の承認を受けた平成 18 (第 3 期)事業年度の財務諸表(附属明細書を含む。)及び関係書類を、本学ホームページの情報

公開(<http://www.kitami-it.ac.jp/pubdoc/system/zaimu/index.htm>)に登載しましたのでお知らせします。

SVBLオープンラボ(研究報告会)を開催

(研究協力課)

去る 9 月 11 日、総合研究棟多目的講義室においてSVBLオープンラボ(研究報告会)が開催されました。

このオープンラボは午前の研究報告会、午後のラボツアーの二部構成となっています。研究報告会では、GPS誘導赤外線空撮システム、地中熱ヒートポンプシステム、ハマナスを利用した産業興しなど、各研究プロジェクトからその研究内容について報告がありました。

午後からは、各プロジェクトの研究室等を見学するラボツアーが実施され、モーションキャプチャシステム、ユーザ適応型ヘルプデスク、ドライビングシミュレータなどを実際に体験し、先端技術を肌で感じていただきました。

今回のオープンラボには、本学教職員・学生をはじめ、一般市民、共同研究先企業、地方自治体などから約 50 名が参加し、実りある報告会となりました。



ラボツアーの様子

地域共同研究センター合同研修会を開催

(研究協力課)

9月20日(木)、21日(金)の両日にかけて北見工業大学総合研究棟において、地域共同研究センター客員教授の吉田芳春教授、中西幹育教授の仲介による、東京(アース研究会)・大阪(KANSAI 仕事づくりの会)方面の中小企業者と札幌の中小企業支援組織(北海道テクノロジーネットサンス研究会)を中心とした合同研修会が開催されました。

この研修会の目的は本学のシーズ、企業側

のニーズ及びこれらのマッチング手法の紹介などに関するもので、北見地域の関係者への呼びかけも行い、総勢40名弱が参加して行われました。研修会で発表された北見工業大学シーズには高い関心が示され、また、地域ではなかなかキャッチし難い2大都市圏での最新の動向などが紹介され、今後の産学連携推進のあり方を示唆する有意義なものとなりました。



吉田芳春客員教授



中西幹育客員教授



高橋地域共同研究センター長による概要説明



有田地域共同研究センター専任准教授による
シーズ紹介

8 月

- 1 日 教務委員会
- 6 日 企画運営会議
サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト
(～18日)
- 7 日 交通安全講習会
- 8 日 教育研究評議会
- 10 日 ISO14001内部監査員養成のための講習会
- 11 日 大学等開放推進事業「おもしろ科学実験」
- 15 日 国際大学交流プログラム(～26日)
- 20 日 平成19年度秋季・平成20年度大学院博士前期課程入学試験(～21日)
- 22 日 平成19年度秋季・平成20年度大学院博士後期課程入学試験
- 23 日 情報システム運営委員会
図書館委員会
- 24 日 教務委員会
ピア・サポート・トレーナー研修会
- 29 日 昌原大学校との学術教育交流協定締結式
- 31 日 メンタルヘルス講習会



9 月

- 3 日 企画運営会議
- 4 日 大学評価委員会
入学者選抜委員会
- 5 日 教授会、研究科委員会
学生委員会
大学院博士前期課程・後期課程合格発表
- 8 日 進学説明会(盛岡)
- 9 日 父母懇談会(仙台)
- 10 日 企画運営会議
- 11 日 SVBLオープンラボ
- 12 日 教育研究評議会
メンタルヘルス研修
- 14 日 学位記授与式
- 18 日 企画運営会議
地域共同研究センター産学官連携推進員
会議
発明審査委員会
TAのFD研修会
- 19 日 大学評価委員会
- 20 日 大学シーズ発表会
- 21 日 経営協議会、学長選考会議、役員会
メンタルヘルスサポート研修
- 26 日 知財管理(個別大学)セミナー
学生委員会、教務委員会、図書館委員会
ISO14001定期維持審査(～27日)
- 27 日 ピア・サポーター研修(～28日)
- 28 日 キャリア支援セミナー、就職ガイダンス